

平相国清盛公六波羅の館は、今の太閤の地を中央にして、北は五条南は七条を限り、大和太閤を門前とす。

平正盛忠盛重代の地なり。清盛公に至つては境地廣大にして、殿舎には珠玉を鑲め、樓閣には香木を聚む、南の方に

大きな池あり、傍に水殿を造る、これを池殿といふ、凡亭宅の数百七十余宇におよべり。内府重盛公の居宅小松殿ま

で二十余町の間殿宇建続けり、其外家臣眷属の住所五千二百余宇ありとぞ。平家滅亡の後も此第ありて、北条泰時同時

房等こゝに来つて政道を行ふ。正慶二年五月千種中納言忠顕赤松良忠大軍を以て六波羅を攻破る、北条時益仲時後伏

見上皇新帝を供奉して関東へ逃趨る、此時六波羅の館断絶す。